

# Q & A だ!

つながる子どもの育ちと学び

# はじめての いっぽ

もういっぽ

～保幼小連携、これで充実させよう～



令和6年12月

山口県乳幼児の育ちと学び支援センター

保幼小連携を進めるための  
好情報がたくさんです!!

12月発行 すご期待!!

## STEP 0 保幼小連携って?

まずは「保幼小連携」に関する素朴な疑問について確認してみましょう。



Q1 どうして「保幼小連携」が大切なのですか?

山口県では、子どもの成長の過程にならって「保幼小」という文言を使用しています。文部科学省では「幼保小」を使用しています。

交流活動は、計画するのが、大変でしょうか?

まずは、一緒にできそうなことからスタートしてみませんか?

早速担当を、決めないと

窓口は〇〇先生にお願いしよう

園長 校長

例①: 保育・授業交流の場合

保幼小連携アドバイザー

交流活動での体験が園での遊びの発展につながることもあります。

# マンガだ!

例②: 日常的な交流の場合

事前に何度も練習・準備

必ず集合させて指示

儀式的なセレモニー

もう一度

期待

安心感

回数を重ねて!

あと子どもに任せて!

自己肯定感

思いやり

小学生

園児

活動も多く!

# 実践例だ!

### STEP 1

先生がつながる事例

市の取組 「はじめての研修会」  
行政が背中を押す「はじめてのいっぽ」  
～先生同士がつながろう～

①執筆者の所属: 保育主管課  
②参加人数: 34人  
③市内の園、小学校数: 12園、11校  
④運営の現状: 市主催の研修会を初めて開催しました。  
⑤執筆者の一言: 行政によるコーディネートで連携をスタートしました!!

### 1 ねらい

- 市内全ての園と小学校を対象とした保幼小連携の研修会を開催することにより、連携の必要性について共通認識をもち、各地域の実情に応じた連携の方法を考える。
- 市内全ての園と小学校の先生が集まり、他の園や学校で取り組んでいる好事例を参考にする事で今後の連携に生かせるようにする。

### 2 参加者 (☆: 本実践の企画・運営担当者)

○ 園 (12園) 園長、5歳児クラス担任 (計21人)

### STEP 1

6 取組の実際

#### (1) 講義

乳幼児の育ちと学び支援センターの4をテーマとし、取組の現状や連携を行うための知識・技能・文化のギャップを埋めることに取り組むことが重要であることを踏まえて、「子どもが不易議に思ったこと」に視点をもつことが重要であると改めて

#### (2) 事例紹介・グループワーク

園からは、「興味のある遊びを通してある園の事例では、へびに興味をもった「へびの長さは何センチ?」といった疑問を現したりすることで協同性や数量への興